



南極での体験を語る坂下さん

南極の神秘学ぶ 金沢で特別授業

金沢市堀川新町の第一学院高校金沢キャンパスで10日、南極について学ぶ特別授業が行われ、1〜2年生約45人が参加した。

2009〜18年に計4回、南極地域観測隊に参加した住宅メーカー社員、坂下大輔さん(43)(輪島市出身)が講師を務めた。坂下

さんは、太陽光や風をエネルギーに変換して備蓄する「自然エネルギー棟」の建設などに携わったという。

坂下さんは、太陽が一日中沈まない白夜やオーロラなど、南極で発生する神秘的な自然現象を紹介。雪を伴う暴風「ブリザード」が

吹き、教員先も見えなくなる過酷な環境であることも教えた。また、調査隊員や料理人、医療スタッフなどの連携が欠かせないとし、仲間と協力し、何事にも挑戦することが大事だ」と語った。

参加した1年の滝川一穂さん(15)は「厳しい環境でも頑張っている人たちがいる。自分も勇気をもった」と話していた。